

4/5
(金)

悲惨な交通事故を減らすために 全国交通安全運動出動式

保原中央交流館

ceremony

伊達地区交通安全協会長の菅野宇一^{かんの うえいち}さんは「子どもたちが交通事故にあわないように連携を図りながら活動していきます」と話し、伊達市交通対策協議会長を務める須田市長は「交通事故を1件でも少なくするため、ヘルメット着用などが守られるように啓発を進めます」とあいさつをしました。聖光学院高校
ブラスバンド部と伊達高校吹奏楽部が合同演奏を披露した後、白バイなどが出発して交通安全を呼びかけました。



4/8
(月)

期待に胸を膨らませた初日 新しい環境で新しい友達と入学式

月舘学園

ceremony

小中一貫校の月舘学園では小中学生21人が入学しました。佐藤秀和校長は小学生に向けて「学校は楽しいことがたくさん。安心して学校に来てください」、中学生に向けて「失敗を恐れることなく可能性を広げてください」と述べました。在校生代表の齋藤大智^{さいとう だいち}さんは「学園の児童生徒として誇りをもち、笑顔で過ごしていきたいと思います」と歓迎の言葉を述べました。今年^{ことし}は市内の小学校に355人、中学校に392人が入学しました。



3/26
(火)

三大鶏を一気に味わう返礼品 「リッチな気分で食べ比べ」

伊達市役所

ceremony

三大鶏が味わえる「ふるさと納税共通返礼品」の発表会が行われました。共通返礼品は、伊達市・三島町・川俣町でつくるふくしま三大鶏振興協議会が「伊達鶏、川俣シャモ、会津地鶏」を、楽しんでもらうために開発したものです。発表会後には試食会も行われ、三大鶏を食べ比べた人たちから「それぞれに特徴があっておいしいです」といった声が聞かれました。ふるさと納税を取り扱う各種ポータルサイトから受け付けています。



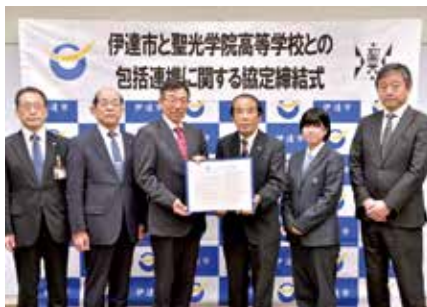
3/28
(木)

地域の課題に若い世代の力を 聖光学院高校との包括連携

伊達市役所

ceremony

地域創生を担う若い人材の育成と、高校の魅力向上を図るもので、式では聖光学院高校の新井秀校長が協定書に署名しました。須田市長は「これまで以上に連携・協力関係を深め、若い世代の発想力や行動力を活かし、活力あふれる地域社会の創出に努めていきたいです」と述べ、新井校長は「我が校の特色であるスポーツなどを活かしながら、地域に根差した学校を目指して、より一層励んでいきます」と述べました。



3/19
(火)

災害時に物資を安定供給 及び配送等に関する協定締結

伊達市役所

ceremony

本協定は、災害時に物資の安定供給を図るもので、式では佐川急便株式会社の小平英昭南東北支店長が協定締結書に署名をしました。須田市長は「災害時の物資の配送はとても重要なもの。大変心強く感じています」と述べ、小平支店長は「これまで培った経験を活かし、市の皆さんに貢献したいです」とあいさつをしました。伊達市において、初めての運送会社との協定締結であり、平時から連携を強化し災害に備えていきます。



3/21
(木)

高齢者見守りネットワーク 訪問先で気になりな点を情報共有

伊達市役所

ceremony

市内に住む高齢者の見守り活動に協力いただく協定で、式では第一環境株式会社の小松優東北支店長と須田市長が締結書に署名をしました。須田市長は「人の目でしっかり高齢者を見守ってほしいです」と述べ、小松支店長は「業務を通して地域の安全に貢献したいです」とあいさつをしました。第一環境株式会社との協定締結は県内初。上下水道の料金徴収などで訪問先の高齢者に気になりなことがあった場合、連携する内容です。



3/19
(火)

本市初！ネーミングライツ 愛称「エフコム大泉球場」

伊達市役所

ceremony

ほばら大泉球場のネーミングライツ・パートナーが決定し、株式会社エフコムの斎藤正弘^{さいとう まさひろ}代表取締役社長と須田市長が契約書に署名をしました。ネーミングライツは、命名権を付与し、施設の魅力向上を目的に実施する事業です。斎藤代表取締役社長は、「市の活性化や交流人口の増加、伊達市の元気につながるように貢献したいです」とあいさつをしました。契約期間は5年間で、ネーミングライツ料は年間50万円です。



3/19
(火)

地域社会の絆を深める 商品の配送時に日常をチェック

伊達市役所

ceremony

ひとり暮らしの高齢者などに対するきめ細かな支援を図る協定で、式では株式会社パルシステムの池端美雪^{いけはた みゆき}理事長が締結書に署名をしました。佐藤副市長は「高齢者、障がい者、子どもの日常生活において気になりなことを、速やかに連絡ください」と述べ、池端理事長は「住みやすいまちづくりに貢献します」とあいさつをしました。保原工業団地に4月から伊達センターが開所することに併せて、本協定を結びました。

